

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	田幸、中澤、関野
		全体計画						経費区分		-		内線	3252
事務事業名	4135 環境対策事業												
所 属	140100 環境部・生活環境課												
施 策	03011100 環境を守る活動の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	040106 衛生費・保健衛生費・公害対策費											
	事業	010000 環境対策事業											
事業目的							事業概要・効果						
市民の生活環境保全のため、河川水質調査や環境保全パトロール等を実施し、また、各種苦情の早期解決に努める。騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法などに基づく規制基準の遵守のため指導及び改善勧告等、必要な措置を行い公害の防止に努める。							河川の水質調査や地域環境保全巡回パトロールを行い、現状の把握や水質汚濁防止等に努める。また、騒音防止法、振動防止法、悪臭防止法に基づく指導等により、公害防止に努める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、地域環境保全巡回パトロール	河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、第二次須坂市環境行動計画の策定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定
平成24年度 実績	平成25年度 実績
河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、悪臭防止法に基づく規制地域追加指定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務	河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、悪臭防止法に基づく規制地域追加指定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務
平成26年度 実績	平成27年度 予定
河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、悪臭防止法に基づく規制地域追加指定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務	河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、悪臭防止法に基づく規制地域追加指定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務

指標名	主要河川BOD値の改善				
算式	市内主要7河川の観測地点のうち、目標基準（1.0mg/l）以下を満たしている割合				単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	56%	67%	78%	89%
	実績	68%	73%	68%	95%
指標選定の理由	第5次須崎市総合計画に基づき設定				
最終年度目標の根拠	市内主要7河川の観測地点のうち、目標基準のである100%を満たすため。				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		4,956	7,209
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		4,956	7,209
人員数(人)	正規職員	1.0	1.1
	嘱託職員	0.5	0.6
	臨時職員	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	6,858.0	7,543.8
	嘱託職員	1,362.5	1,635.0
	臨時職員	117.7	117.7
	計	8,338.2	9,296.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,294.2	16,505.5

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	16	せせらぎサイエンス講師謝礼
11節 需用費	459	消耗品費260,950、燃料費120,313、修繕料78,300
13節 委託費	4,227	騒音調査1,976,400、悪臭調査1,263,575、水質検査889,920、空間放射線測定器97,200
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	31	負担金（信濃川を守る会、高山植物等、国立公園都市協議会
その他	223	旅費39、役務費150、公課費34

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	16	報償金16
11節 需用費	523	消耗品費261、燃料費150、印刷製本費30、修繕料82
13節 委託費	6,461	保守点検委託料117、その他の委託料4,895
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	35	負担金35
その他	174	旅費44、役務費130

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	苦情がある限り必要性は高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	BOD値などは改善した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	検討する必要あり。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市内で発生する悪臭苦情の現状を把握するため、市民の協力によりモニタリングを行った。事業者への指導は県と連携して引き続き行っていく。空き地、空き家等の管理に関する苦情の対応が課題である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>生活環境を保全するため、各種公害規正法、環境基本計画に基づき事業を継続。環境対策事業は多種多様なため、公害規制に係る部分を別事業にすることの検討が必要か。</p>		<p>環境対策事業の内、市に指導権限がある悪臭、騒音・振動については、長年解決できていない事案がある。この懸案の解決に引き続き注力したい。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	